



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 日東紡

コード番号 3110

URL <http://www.nittobo.co.jp>

代表者(役職名) 取締役代表執行役社長

(氏名) 辻 裕一

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役

(氏名) 野崎 有

(TEL) 03-4582-5040

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	21,401	6.9	3,142	25.7	3,404	41.7	2,416	48.3
29年3月期第1四半期	20,028	△9.2	2,500	△1.6	2,402	△12.4	1,628	△17.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 3,525百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △1,860百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	12.42	—
29年3月期第1四半期	8.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	138,297	80,246	57.4
29年3月期	140,182	78,281	55.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 79,357百万円 29年3月期 77,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	3.50	—	17.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成29年5月10日に公表いたしました通り、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で併合することを予定しており、期末配当予想の17円50銭は当該株式併合を勘案した1株当たり配当金を記載しております。なお、当該株式併合を勘案しない場合の1株当たり期末配当金は3円50銭となり、中間配当金3円50銭と合わせた1株当たり年間配当金は7円00銭となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,400	3.7	6,000	9.6	6,000	13.6	4,100	12.8	21.13
通期	85,000	2.0	11,500	3.2	11,600	1.8	7,800	4.3	40.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年5月10日に公表いたしました通り、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で併合することを予定しておりますが、平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は当該株式併合を勘案しておりません。なお、当該株式併合が期首に行われたと仮定した場合の1株当たりの当期純利益は、第2四半期累計期間105円65銭、通期200円98銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	199,677,560株	29年3月期	199,677,560株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	5,631,746株	29年3月期	4,245,334株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	194,614,310株	29年3月期1Q	199,195,584株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産が足元好調であるものの、力強さに欠ける状況でした。また世界経済も、ゆるやかな回復基調にあるものの、グローバルな視点でのさまざまなリスクにより、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の下、当社グループは中期経営計画『Go For Next 100』に基づき、高付加価値品へのシフト、生産性向上や原価低減を加速させるとともに、成長のための設備投資や研究開発への注力を開始しました。この結果、日東紡グループの売上高は214億1百万円（前年同四半期比6.9%の増収）、営業利益は31億42百万円（前年同四半期比25.7%の増益）、経常利益は34億4百万円（前年同四半期比41.7%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億16百万円（前年同四半期比48.3%の増益）になりました。

各事業部門における取り組みは以下の通りです。

繊維事業では、主力の芯地販売が日本国内、中国国内および中国からの輸出向けで低迷しました。また、原糸および「日東紡のふきん」などの二次製品販売も低迷しましたが、収益性の改善に努めました。この結果、当事業は売上高12億2百万円（前年同四半期比5.8%の減収）、営業損失は1億23百万円（前年同四半期は営業損失1億30百万円）となりました。

グラスファイバー事業部門に属する原織材事業、機能材事業、設備材事業では、高付加価値品へのシフトを加速させ、営業活動の強化および原価低減に取り組むことにより収益性の向上に努めました。グラスファイバー事業部門に属する各事業の具体的な取り組みは以下の通りです。

原織材事業では、強化プラスチック用途の複合材の販売は、スマホ・タブレット向けの高付加価値品を中心として好調に推移しました。また、ガラスヤーンなどの高付加価値品の生産能力増強や生産効率化を推進しました。この結果、当事業は売上高73億35百万円（前年同四半期比19.9%の増収）、営業利益は17億11百万円（前年同四半期比63.9%の増益）となりました。

機能材事業では、高機能サーバーや基地局向け等の電子材料用途の需要に対応し、高付加価値品へのシフトを更に推進しました。この結果、当事業は売上高36億47百万円（前年同四半期比10.1%の増収）、営業利益は6億38百万円（前年同四半期比13.1%の増益）となりました。

設備材事業では、設備・建設資材向けのガラスクロスの販売が伸び悩みました。住宅向け断熱材の需要は安定的に推移しましたが、大型の設備改修により一時的に収益が悪化しました。この結果、当事業は売上高51億7百万円（前年同四半期比2.0%の減収）、営業利益は85百万円（前年同四半期比78.0%の減益）となりました。

ライフサイエンス事業では、免疫系体外診断薬を中心に国内、海外向けの販売に注力するとともに、原価低減に努めました。スペシャリティケミカル分野においては、高付加価値品を国内外に安定的に供給しました。また飲料分野では、多品種小ロットの需要への幅広い対応に加えて、新規顧客獲得に注力しました。この結果、当事業は売上高35億11百万円（前年同四半期比0.2%の減収）、営業利益は8億77百万円（前年同四半期比4.9%の減益）となりました。

その他事業は、不動産・サービス事業などの収益確保に取り組みました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,229	16,079
受取手形及び売掛金	24,077	24,238
商品及び製品	4,912	4,863
仕掛品	3,129	3,382
原材料及び貯蔵品	13,323	13,701
繰延税金資産	1,784	1,374
その他	2,209	1,137
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	67,660	64,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,156	12,007
機械装置及び運搬具(純額)	8,697	8,838
土地	16,847	16,867
リース資産(純額)	3,558	3,432
その他(純額)	793	966
有形固定資産合計	42,053	42,111
無形固定資産	1,687	1,626
投資その他の資産		
投資有価証券	25,443	26,984
退職給付に係る資産	240	240
繰延税金資産	1,865	1,350
その他	1,267	1,249
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	28,780	29,788
固定資産合計	72,521	73,525
資産合計	140,182	138,297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,806	8,456
短期借入金	4,827	4,276
1年内返済予定の長期借入金	6,747	6,216
リース債務	594	591
未払法人税等	1,633	483
賞与引当金	1,284	449
その他	6,051	6,872
流動負債合計	28,946	27,346
固定負債		
長期借入金	11,667	9,719
リース債務	3,522	3,375
修繕引当金	5,438	5,483
退職給付に係る負債	11,051	10,911
その他	1,275	1,215
固定負債合計	32,954	30,704
負債合計	61,901	58,050
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	36,313	37,947
自己株式	△1,757	△2,523
株主資本合計	73,292	74,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,382	6,453
為替換算調整勘定	935	886
退職給付に係る調整累計額	△2,220	△2,143
その他の包括利益累計額合計	4,097	5,196
非支配株主持分	890	888
純資産合計	78,281	80,246
負債純資産合計	140,182	138,297

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	20,028	21,401
売上原価	13,027	13,664
売上総利益	7,001	7,736
販売費及び一般管理費	4,501	4,594
営業利益	2,500	3,142
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	271	382
受取賃貸料	20	21
その他	32	58
営業外収益合計	327	466
営業外費用		
支払利息	89	67
為替差損	267	84
その他	68	52
営業外費用合計	425	204
経常利益	2,402	3,404
特別損失		
固定資産処分損	38	74
特別損失合計	38	74
税金等調整前四半期純利益	2,363	3,330
法人税、住民税及び事業税	268	500
法人税等調整額	454	406
法人税等合計	722	906
四半期純利益	1,640	2,424
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,628	2,416

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	1,640	2,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,927	1,073
為替換算調整勘定	△647	△49
退職給付に係る調整額	73	77
その他の包括利益合計	△3,501	1,101
四半期包括利益	△1,860	3,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,871	3,515
非支配株主に係る四半期包括利益	11	10



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維 事業	原繊維材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	1,276	6,119	3,312	5,209	3,518	19,436	592	20,028	—	20,028
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1	1,515	3	33	110	1,663	184	1,848	△1,848	—
計	1,278	7,634	3,316	5,242	3,628	21,100	777	21,877	△1,848	20,028
セグメント利益 又は損失(△)	△130	1,044	564	388	922	2,789	7	2,797	△296	2,500

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△296百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維 事業	原繊維材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	1,202	7,335	3,647	5,107	3,511	20,804	596	21,401	—	21,401
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	1,657	8	55	84	1,806	497	2,304	△2,304	—
計	1,202	8,993	3,656	5,162	3,595	22,611	1,094	23,705	△2,304	21,401
セグメント利益 又は損失(△)	△123	1,711	638	85	877	3,189	4	3,194	△52	3,142

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△52百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「機能材事業」に含まれていた㈱双洋の一部事業につき、「原織材事業」及び「設備材事業」に、また、従来「設備材事業」に含まれていた㈱日東紡テクノにつき、「その他」に変更しております。さらに、従来「環境・ヘルス事業」としていた報告セグメントの名称を「ライフサイエンス事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。